

第68号

編集室 〒794-2114
愛媛県今治市吉海町
名2916-2 高龍寺内
TEL 0897-84-2129
FAX 0897-84-4495
Eメール info.koryuji@gmail.com
責任者 鴨井 智峯

新年のお慶び申し上げます。

高龍寺 院家

新型コロナウイルスが全世界に蔓延して3年の月日が経ちました。当初は見えない敵との戦いという感じで世界中に緊張感が走りましたが、少しずつ正体が見えて来てワクチンも普及しはじめ、少しずつ元の生活を取り戻しつつあります。

しかしコロナ禍前と比較しますと習慣や風習に変化を感じているのは私だけでは無いかと思います。例えばお寺をとりまく中でも、葬儀や法事またお寺での法要など、本来大切な人達が集い、同じ場所で祈りを捧げることに制限が持たれる今、人の繋がりが希薄になっていくことが心配です。

コロナ禍が永久に続く訳ではありませんので、元のように人々が集る社会に戻る事を祈る日々です。

今年は高龍寺での五年に一度の涅槃会を迎えます。無事法要が勤められ皆様が安全にお参りできますように勤めて参りますので、どうぞお参り下さい。なお涅槃法要に付いては改めてご案内させていただきます。

合掌

涅槃会 2023年3月26日※今年度は高龍寺

2023

2023年度 亀老山 高龍寺 年中行事

- 御影供 毎月21日頃(5ヶ寺で持ち回り)
- 大般若 2023年1月31日、4月29日、11月22日
- 常楽会(涅槃会) 2023年3月26日※今年度は高龍寺
- 花まつり 2023年5月27日
- 施餓鬼 2023年8月18日
- お焚き上げ 9月末頃
- 巳正月 2023年12月12日 ※初仏の檀家さんのみ
- 除夜の鐘 2023年12月31日23時45分頃～

2022

大島歴史文化の会 会員募集中

この度、「大島歴史文化の会」を発足することになりました。大島に伝わる伝統や文化を継承し、大島の魅力を周知することを目的としています。

高龍寺は事務局をしています。

まずは、大島を知ろう! ということで、月に一度ほど大島の各地区を見学しています。

高龍寺で随時、受付しております。

参加希望者はお知らせください。

会費(年間)

個人会員:1,000円 法人会員:10,000円

活動実績

第1回:友浦地区の見学(2022年12月14日)



御室流華道教室 受講者募集中



高龍寺では、月に1~2回の頻度で御室流華道教室を行っています。

講師は瀬尾宗正先生(御室流華督、智光山 観音寺住職)です。

- ①御室流の華道伝授コース 月謝5000円
- ②華道を楽しむコース お稽古料1000円(各回)

※別途、花代(各回3,000円未満)がかかります。



高龍寺 SNS のご紹介



ホームページ、フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどのSNSで高龍寺の情報を発信しています。ぜひご覧ください。



<https://www.koryuji.jp/>



<https://www.facebook.com/kouryuuji/>



<https://twitter.com/koryuji597>



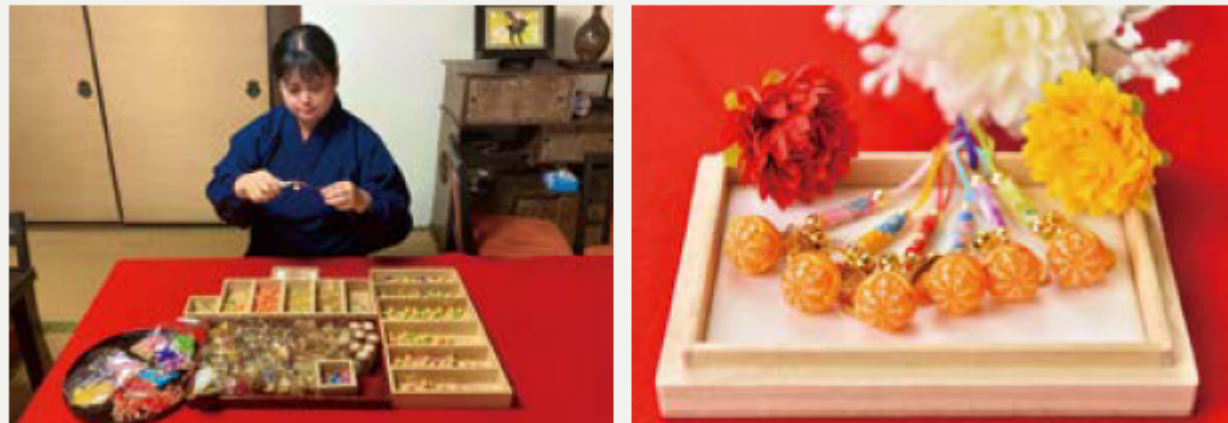
<https://www.instagram.com/koryuji597/>

高龍寺に授与所ができました

高龍寺に授与所ができました。高龍寺オリジナルの御守やお線香。お詣りの際などに、ぜひお立ち寄りください。



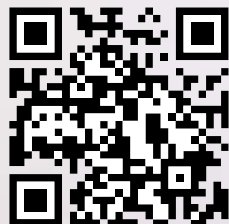
高龍寺の手作り御守



高龍寺の手作り御守は、高龍寺の成り立ちや伝承をもっと広く知ってほしいと思ったことから始まりました。副住職の妻が一点、一点、手作りで作成しています。オンラインショップでもご購入いただけます。

愛媛新聞に取材されました

2022年9月18日(日)の愛媛新聞に取材されました。愛媛新聞 ONLINE でもご覧いただけます。



不殺生について

高龍寺副住職 鴨井悠真

あまりお寺になじみのない方でも、不殺生という言葉は耳にするかと思いますが。今更改めて説明するほどのことではないかと思いますが、「肉を食べない、生き物を殺さない」ということです。

とても素晴らしいと思いますが、現実でそれが可能なのでしょうか？

私の知り合いで不殺生のために粗食を続け、栄養失調で入院してしまった方がいました。戒律を守ろうとする信念は素晴らしいと思いますが、入院して家族や友人を悲しませたり心配させてしまつては、本末転倒のような気がしてしまいます。不殺生とは本来、「誰も何も殺さない、傷つけない」という考えのもとに始まったものはずなのに……。

仮に、完全に肉を食べず、動物由来の製品を使わない生活を実践していたとしても、その人は不殺生を守れていると言えるのでしょうか？

電気や自動車を使えば、地球や動物たちに影響を与えます。

野菜も、野菜を食べようとした虫を殺して育てたものかもしれないし、野菜を育てたり運ぶ際にも、やはり電気や自動車を使っているでしょう。直接手を下してはいなくても、やはり殺生と無縁とは言えないかと思われれます。そもそも人間は生きてるだけで、免疫機能のためにたくさんのウイルスや細菌を殺しています。

不殺生というものは不可能で、人間の生活とは沢山の犠牲により支えられているものだということです。開き直って好き勝手に生きましようということではなく、犠牲になった命に感謝し、少しずつで結構です。その分の恩返しを他の誰かにしてあげてくださいということ、私は言いたいです。

一人一人が感謝の気持ちを忘れず、そのお返しとして誰かに優しくすることができれば、きっと世の中も今より素敵なものになるかと思えます。

不殺生とは「肉を食べない、生き物を殺さない」ということだけではなく、「命とは何か、生きるとはどういうことか、よく考えてみなさい」ということなのだと思えます。